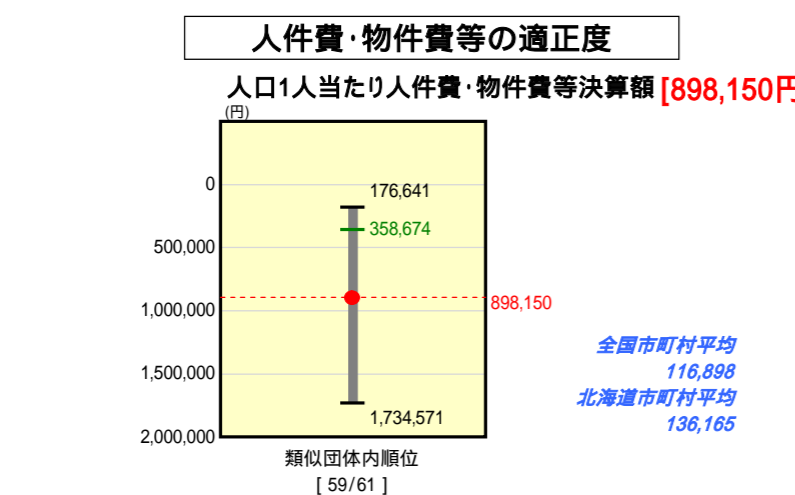
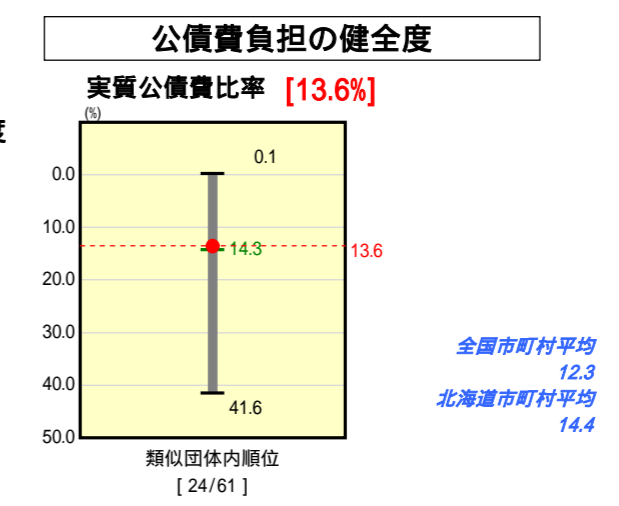
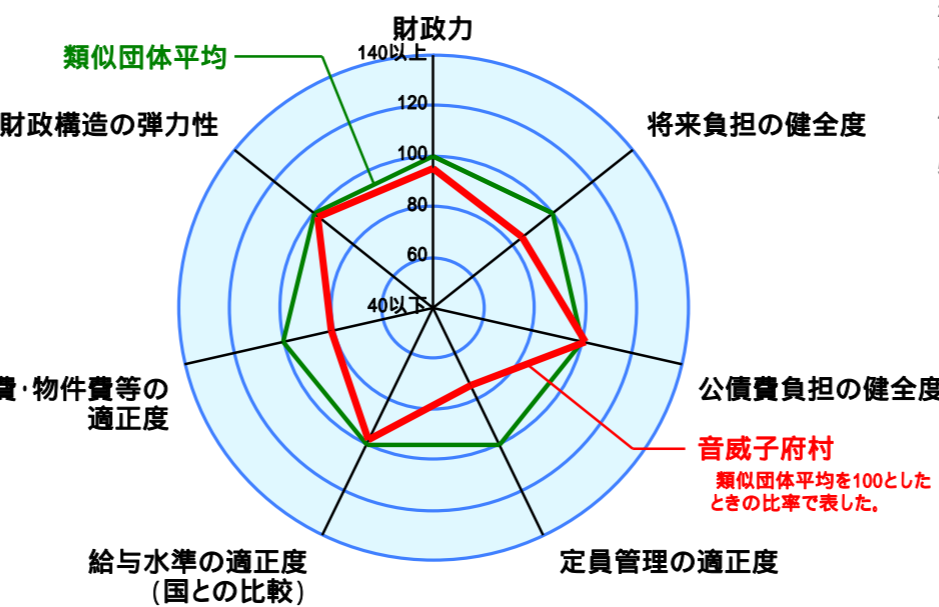
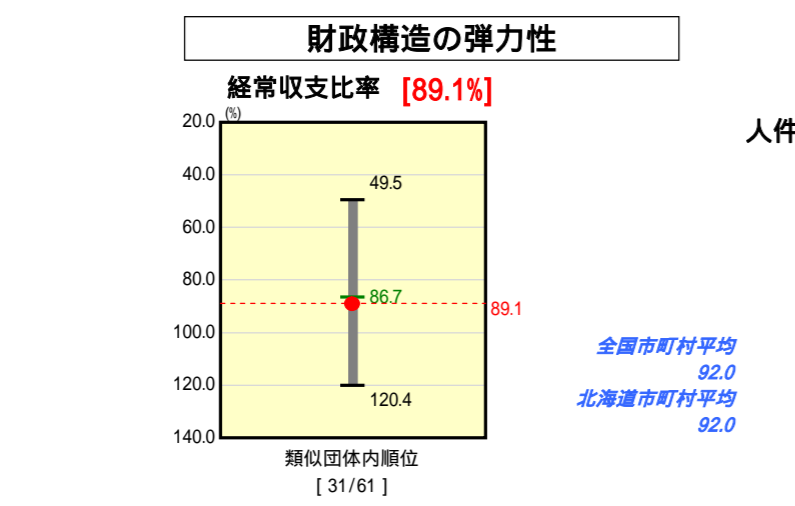
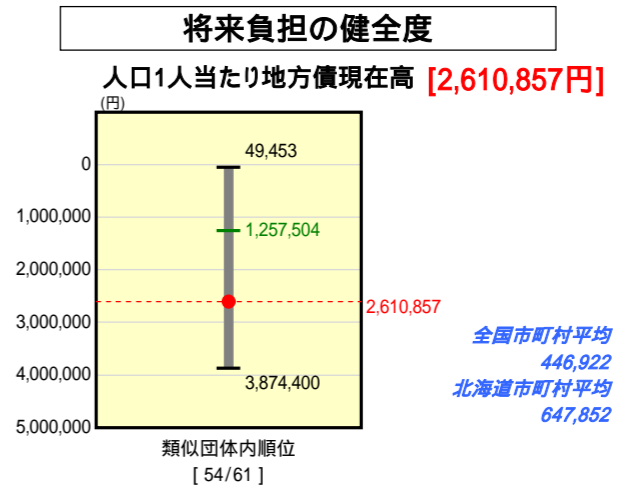
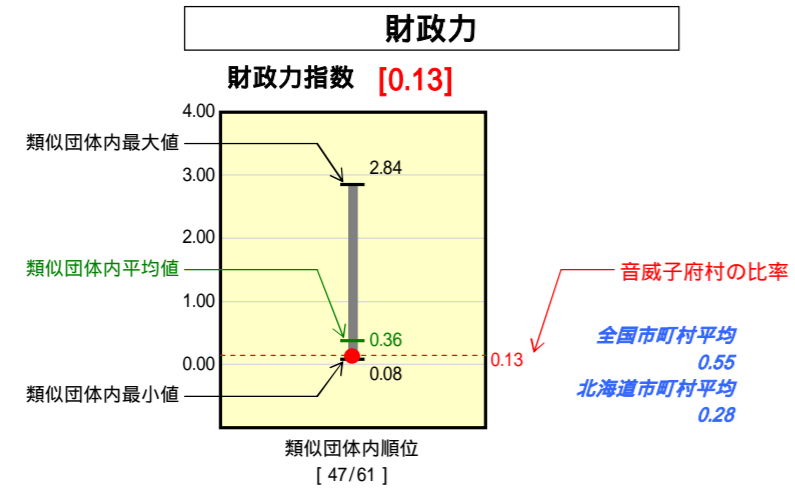


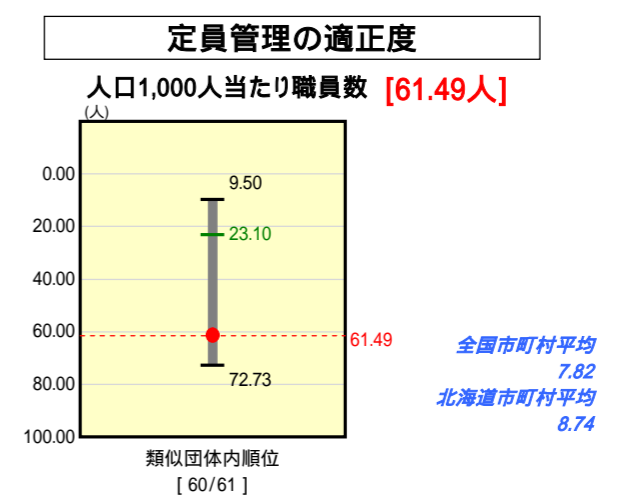
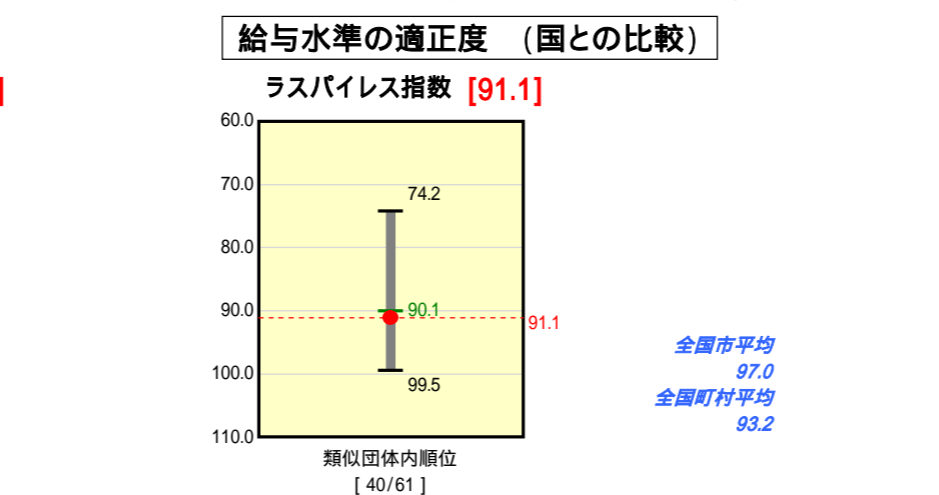
市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

北海道 音威子府村

人口	927人	(H20.3.31現在)
面積	275.64	km ²
歳入総額	1,797,475	千円
歳出総額	1,738,959	千円
実質収支	58,516	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数～人口の減少が止まらないことや、中心となる産業がないこと等により、財政基盤が非常に弱く類似団体平均を大きく下回っている。これまで平成17年度策定の『自立プラン』に基づき歳出では給与の削減、補助金の削減、歳入では公共料金等の値上げにより歳出の縮減と行政の効率化に努めている。

経常収支比率～前年とほぼ変化が無く、類似団体の平均を上回っている。人件費にかかる比率も昨年同様約35%を占め、給与削減等により人件費の抑制を図り財政改革の取り組みを通じ義務的経費の削減に努めている。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額～人件費、物件費及び維持補修費の合計額の人口1人当たりの金額が類似団体平均を上回るのは、人件費及び物件費が主な原因となっている。これは、村立高等学校の運営を行っているためである。今後も運営の効率化を目指し、経費削減に努めていく。

人口1人当たり地方債現在高～類似団体平均を大きく上回っている主な要因としては、平成11年度に実施した診療所改築事業(起債額4億8千万)等であるが、新規地方債の発行抑制により水準を下げるよう努める。

実質公債費比率～昨年の数値より3ポイント程下がり、全国平均よりは上回っているものの、類似団体平均をやや下回った。これは、算出方法が若干変更になったことと、平成17年度以降大規模な事業を行っておらず、起債の借入が減った事による。今後も事業計画の縮小を図り類似団体の水準を目指すよう努める。

人口1,000人当たり職員数～村立高等学校を設置(教職員数16名)していることから、類似団体平均を大きく上回っているが、行財政改革(自立プラン)に基づく定年等退職者の不補充により平成13年度から平成18年度末までに12人の減となっており、今後も定員の適正化に努める。

ラスパイレス指数～前年と数値は変わらず、類似団体平均をやや上回ってはいるものの、ほぼ同水準である。今後も『自立プラン』に基づき、一層の適正化に努める。